

米国の公文書館について

坂口 貴弘



国立公文書記録管理院（NARA）の概要

①沿革

- 1934年 The National Archivesとして設立
- 1949年 共通役務庁の下部機関となる
- 1985年 National Archives and Records Administrationとして再び独立機関に
- 1994年 新館オープン

※「国立公文書記録管理庁」「国立公文書記録管理局」
「国立公文書館」等の訳例あり

国立公文書記録管理院（NARA）の概要

②特徴

- 連邦政府の公文書管理と公文書館の運営を一元的に管轄
- 立法・司法・行政の公文書を一括管理
 - ※15年経過した裁判記録の移管を受ける
- 国家機密指定の監査・解除に関する業務を管轄
- 全米に多数の施設を設置

特徴的な機能

③施設

- 本館（ワシントンD.C.）
主にファミリーヒストリーを調べる
一般市民向けの資料を所蔵／展示室
- 新館（メリーランド州）
主に研究者向けの資料を所蔵
- 地域分館（全米各地に12施設）
連邦政府の地方事務所・裁判所の公文書等
- その他
レコードセンター18、大統領図書館14

NARA本館（ワシントンD.C.）



連邦議事堂とホワイトハウスを結ぶ 道沿いに立地



NARA新館（メリーランド州）



国立公文書記録管理院（NARA）の概要

③職員数

- 2842人（2022年度予算、常勤職員数換算）
- 職員数の多い職能（2021年度）

1	レコードセンター業務	1040.60人
2	公文書閲覧業務	442.74人
3	文書管理・評価選別	132.12人
4	所蔵資料の管理・記述	107.77人
5	機密指定プログラム監視	88.80人
6	資料保存業務	87.19人
7	業務管理・政策立案	83.91人
8	情報技術管理	81.24人
9	展示業務	71.89人

特徴的な機能

①レコードセンター（中間書庫）

- 全米18か所があり、NARAが管轄
- 各政府機関で使用頻度の低下した公文書を集中保管し、**オフィススペースの有効活用**を促す
- 文書の保管・探索・配送・廃棄を実施
- 電子文書、機密文書にも対応

特徴的な機能

②所蔵資料の公開

- 一般公開が制限される期間は資料によって異なる
 - ※一律30年ではない
- 制限事由：情報自由法（FOIA）、機密指定制度その他の法規、移管元機関による指定
- 公開制限期間の例
 - 大統領文書 退任後5年間～12年間
 - 個人を特定できる国勢調査記録 72年間
 - 生存する個人のプライバシーに関する情報 75年間

特徴的な機能

③電子公文書の管理

- 連邦政府機関の電子文書管理システムが備えるべき機能要件を定める
 - 各機関が調達・利用する電子文書管理システムは、この要求事項を満たしている必要がある
 - 共通役務庁と協力し、連邦政府全体の業務支援機能標準の一環として位置づける
- 特定の上級管理職の電子メールは、内容を問わず全て永久保存する制度（キャップストーン）
- その他、各種の研修、支援、改善の機会を提供

展示・学習機能

①NARA本館の展示

- 「独立宣言書」「合衆国憲法」「権利章典」の**原本**
- 常設展示「権利の記録」(Records of Rights)
差別とその撤廃の歴史に関する文書など
- 常設展示「公共の宝物庫」(Public Vaults)
代表的な所蔵資料の紹介
- 学習センター
子供たちが遊びながら歴史を学ぶプログラム
- その他：企画展示、講堂、カフェ、ショップなど

独立記念日の観光客



展示・学習機能

②大統領図書館の展示

- 大統領が退任するたびに設立され、任期中の公文書等を保存・公開する施設
- NARAの管轄下におかれ、大統領とそのスタッフの公文書等が移管される
- 退任した大統領が設立する財団が運営し、当人ゆかりの地に建設されることが多い
- 大統領を顕彰し、その時代を振り返る**展示室**もある
 - ※人物記念館の性格が強い

展示・学習機能

②大統領図書館の展示

- ジョージ・W・ブッシュ大統領図書館
 - イラク戦争の開戦命令書（トップシークレット）
 - 小泉純一郎首相から贈られた矢
- クリントン大統領図書館
 - 手書きで加筆した演説原稿
 - 大統領弾劾を取り上げた展示
- ジョンソン大統領図書館
 - 展示室から見える書庫
 - キング牧師との電話の録音

ジョージ・W・ブッシュ大統領図書館



クリントン大統領図書館



ジョンソン
大統領図書館



展示・学習機能

③学習機能

- 所蔵資料を活用したオンライン学習ツール「DocsTeach」
- 教師向けのワークショップ
- **主権者教育**に関する学習プログラム（小学生～高校生）
「統治するのは私たち」（We Rule: Civics for All of US）
- ファミリーヒストリーを調べる子供向けツール
- 生徒の見学受入れ（本館、大統領図書館）
- 大学生・大学院生を**インターン**として受入れ
歴史学、政治学、図書館情報学など

おわりに：
米国の公文書館が目指すもの



ミッション

「私達はかけがえのない政府記録へのアクセスを通じて、公開性を高め、市民の参加を促し、この国の民主主義を強固なものにする」

- 電子文書中心の公文書管理制度への転換を図りつつある
- 本館への来館だけでなく、オンラインでのサービス提供に力を入れている
- ファミリーヒストリーや主権者教育の拠点として自らを位置づけている